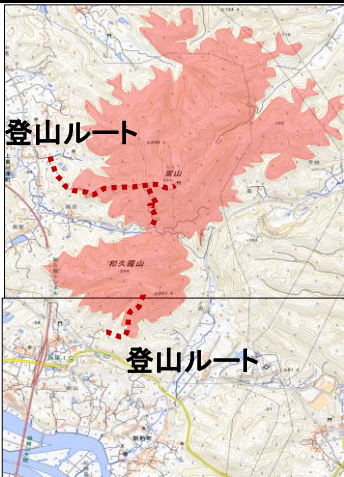


地質サイトカード

カードNo.		B-④-6		通しNo.	39	作成日	2025/4/30	
サイト名		寝仏の ^{だけさん} 嵩山と和久羅山 ^{わくらやま}						
基本情報	エリア	出雲平野・宍道湖・中海低地帯 探訪サイト						
	区分	☒ 地質・地形 ☐ 生態 ☒ 文化						
	利用価値	☒ 科学 ☒ 教育 ☒ 観光・ツアー						
	所在地	松江市川原町、上東川津町						
	アクセス	嵩山登山道入り口まで、松江だんだん道路西尾ICから約3.5km、約6分。 和久羅山登山道入り口まで、松江だんだん道路西尾ICから約0.6km、約1分。						
	周辺施設	☒ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☒ 駐車場(台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設()						
	看板整備							
	留意点							
保護・保全								
法規制・関連団体等		宍道湖北山県立自然公園						
保全メモ								
サイトの解説	みどころ	約70～90万年前にプレート運動によって噴出したデイサイト溶岩とその山塊の形状の比喩。						
	地質・地形	嵩山と和久羅山はデイサイト質溶岩からなる山体で、一つの山塊をつくっている。かつては安山岩溶岩よりなるものとされ、約500～600万年前の火山活動でできた山塊とみなされていたが、最近の研究によると70～90万年前に形成されたと考えられている。「和久羅山デイサイト」は、岩相・層序・化学組成から3つのタイプに分類され、色調によって赤色系・緑色系・灰色系の3つに区分することができる。また、岩石化学的特徴(化学元素のストロンチウムが多い)からアダカイトに分類され、スラブメルティングに由来するものと考えられている。このことから、70～90万年前頃にはプレート運動によって沈み込んだ四国海盆のスラブが島根半島直下のアセノスフェアの上昇部に到達し、部分熔融していた可能性が考えられている。 嵩山-和久羅山山塊は人の寝姿のように見えるので、涅槃仏や女性の寝姿になぞらえ、市民に親しまれてきた。嵩山の登山道の途中からは松江の街並みと宍道湖が一望でき、山頂からは中海と大根島、弓ヶ浜半島が一望できる。						
	歴史・文化 生物・生態 等	『出雲国風土記』には「布自枳美高山(ふじきみたけやま)。郡家の正南七里二百一十歩なり。高さ二百七十丈、周り一十里なり。烽(とぶひ=のろしを上げる場所)あり」と記載されている。同じく隣の和久羅山は「女岳山(めだけやま)。郡家の正南二百三十歩なり」と記す。						
写真・図等								
参考文献		島根地質百選、佐藤ほか(2011)						